



講演テーマ

## 2030年、そのとき日本は 今、わたしたちが目指す17の目標

国谷 裕子

ロータリーの皆様こんにちは。私は、NHKの「クローズアップ現代」で長年にわたりキャスターを務めてまいりました。本日は、大きく二つのテーマについてお話して参りたいと思います。

はじめは、「報道で物事を視聴者に伝えるキャスターの役割」についてです。

最も注意すべき点は、映像の力はとてもパワフルであり、人々のイメージネーションを奪ってしまうという事です。例えば、2001年の9.11同時多発テロ事件のような衝撃的な映像が繰り返しメディアを通じて流されることによって、人々の憎悪・復讐心を生み出し、共有化され、アメリカ国民の冷静な判断力は奪われてしまいました。さらに、メディアが人々に寄り添うことによって、ますますそれらの感情は増幅され、少数派の意見は排除されていきました。

私は、キャスターとして、この事柄に留意して、世の中の底辺でのトレンド・変化を皆様に伝えてまいりました。絶大な人気を誇る出演者にネガティブな質問をして、批判的で意見を戴くこともありましたが、誰に対しても聞くべきことは聞き、事実を浮かび上がらせる事は大切です。世の中の情報が多すぎて、なかなか立ち止まれないなか、クローズアップ現代では、立ち止まって事象を観察（洞察）することによって、まるで定点観測所のようにあり安心感がある、との評価を頂いて参りました。

映画監督の是枝裕和氏のご紹介致します。

「分かりにくいことを分かりやすくするのはな

く、分かりやすいと思われる物事の背景に潜んでいるわかりにくさ（物事の本質）を描くことの先に知性は芽生える。」

次に、本題の「2030に向けて、日本にとって大切なこと」です。

昨年（2015年）9月、国連で、150を超える加盟国首脳に参加のもと、その成果文書として、「我々の世界を変革する、持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。2030アジェンダは、人間、地球の繁栄のための行動計画として、宣言及び目標を掲げました。この目標が2030年での実現を目指す17の目標と169のターゲットからなるSDGs（Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）です。

SDGsの画期的な点は、全世界のバラバラな課題が、すべて底辺でつながっているという事を認識し、あらゆる問題に対して先進国・発展途上国を問わず全世界で同時に取り組んでゆく、という点です。

例えば、気候変動による地球環境の破壊によって、農産物・海産物が減少し、人々の仕事が奪われ、貧困者が都市に流入し、治安悪化によって、テロ組織の温床につながっていく、ということが一つの具体的なつながりとして挙げられます。

これらを同時に解決してゆくべき目標対象が以下の17です。

要約すると、

(次ページに続く)

大会記念講演

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

大会記念講演

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

講演テーマ

## 2030年、そのとき日本は 今、わたしたちが目指す17の目標

### プロフィール

出身地 大阪府

- 1979年 米国・ブラウン大学卒業(専攻 国際関係および国際経済)
- 1981～ NHK「7時のニュース」英語放送(アナウンサー・ライター)
- 1987～ NHK・BS1「ワールドニュース」NY発キャスター
- 1988～ NHK「ニューストゥディエ」国際担当キャスター
- 1989～ NHK・BS1「ワールドニュース」キャスター
- 1993～2006.3月 NHK「クローズアップ現代」キャスター

このほか、特別番組やNHKスペシャルなどのキャスターを担当

### (受賞歴)

- 1995年 橋田寿賀子賞
- 1998年 放送ウーマン賞
- 2002年 第50回菊池寛賞
- 2011年 2011年度日本記者クラブ賞
- 2016年 第53回ギャラクシー賞テレビ部門個人賞

なお、母方の祖父は、和歌山県出身の和中金助氏であり、表千家同門会支部長、和歌山文化協会会長、紀陽銀行役員を務めるなどされ、和歌山に所縁があります。

- ①貧困 ②飢餓（食料の安定供給） ③健康・福祉 ④教育 ⑤ジェンダー ⑥水と衛生管理 ⑦エネルギー ⑧持続可能な経済成長・雇用 ⑨インフラ・イノベーション …（中略）… ⑩消費と生産 ⑪気候変動 …（後略）…

なかでも重要なのは、⑬の気候変動です。

1950年から、世界のGDP・人口・資源の消費・等が加速度的に上昇し、それに伴って、大気中の二酸化炭素も増加し、気温上昇につながってきました。21世紀末までに、脱炭素社会を実現しなければ、大気温度は上昇を続け、地球の存続自体に重大な影響を与えてしまいます。

これらの目標には、個別に取り組むのではなく同時に取り組み、統合的にすすめてゆく必要があります。そして、開発途上国が今までのような先進国の開発発展をそのまま目指すのでは地球は維持できません。先進国も率先して資源の浪費を減らすなどして経済成長の在り方を見つめ直してゆかなければなりません。特に日本では、食料廃棄が年間で約600万トンともいわれ、開発途上国に対する世界全体の年間食糧援助量の2倍にも相当するといわれております。

「地球は、私たちがなくても存続できますが、私たちは地球なくして存続できません。」

ロータリーの皆様方にも少しでも自分でできる目標に取り組まれて行かれることをお願い致します。これで、私の講演を終わらせていただきます。ありがとうございました。

